



山本 輝博 議員

松橋駅周辺開発について

問 市長の公約の一つである、モデル市構想と松橋駅周辺開発の構想及び計画は、どのような構想等を考えているのか。

市長 宇城市は地理的交通アクセスに恵まれた地域であり、この点を活かしてテーマを定め、ゾーニングを行い、テーマに沿った住みたいようなまちづくりを進めたい。また、駅周辺開発については、西側の開発だけで済む問題ではないと思っており、当然東側の不知火、松橋の旧商店街開発をセットにして考え、西側開発の動きに東側商店街の方々一体となって開発に参加していただき、東側としてのスプロール化した状態

を整備し、道路沿線の方々と、どのような形で開発していくか、これから十分協議を行い、あくまで東西をセットで開発を考えていかなければならないと思っている。
*スプロール化：都市的地利用が無秩序に拡大し、蚕食していく状態を現す。

公共工事等の入札について

問 公共工事等の入札において、色々と問題がとりざたされているが、宇城市の業者のランク付けはどうなっているのか。

総務部長 現在は、熊本県の六つのランクを、宇城市は三つのランク付けに置き換え準用している。具体的には県の特A・AをAランク（工事価格3千万円以上）、県のB・CランクをBランク（同1千万円から3千万円未満）、県のD・EランクをCランク（同1千万円未満）としており、Aランク18社、Bランク19社、Cランク37社となっている。また、他の業種についても同様にランク付けを行っている。しかし、金額については変動がある。新

ランク付けについては、17・18年度のランク付けに基づき、19年度から新しいランク付けを設定することになっている。また、工事予定価格については、全額公表している。
問 新幹線駅誘致についてお尋ねしたい。
市長 誘致により、地域の利便性の向上と教育文化施設の誘致、今後の観光交流、定住人口の増加、企業活動の活発化による就業人口の増加など、経済波及効果が期待される。

がとれているか。

教育部長 生活環境も含めて安全対策、防犯確認でいきたい。

喫煙マナーの確立について

問 健康立市宣言都市にふさわしい喫煙マナーの確立を提案したい。
市長 市民の健康樹立のため、市民の代表60人にマナーの確立についても検討していただき、健康宇城市21計画書の作成をいただいたところである。

学童保育について

問 公設民営の施設補修等の基準が有るや無しや。
市長 明確な基準は持っていないが、市が開設しているものは市の方で、施設開設は管理者で対応する事になる。
問 防犯等、危機管理体制

児童館運営の今後について

問 児童館運営の今後についてお尋ねしたい。
市長 児童福祉法による児童館の機能は、一般に言う保育所とは必然的に異なる。通常の保育所と比べると保



西岡 ミチ子 議員

子育て支援対策について

問 病後児保育事業をどのように進めていくのか。
市長 子育てと就労の両立支援として、病気の回復期

市長 地域に密着した必要な公共施設である。整備、運営に関しては、地域の理解と協力が不可欠である。意向調査や意見交換等の機会を設け合意形成に努め、保育・子育て環境の整備に努力したい。



藤本 保 議員

JR三角駅周辺開発構想について

問 JR三角駅周辺は、駅舎、フェリー発着場、バスターミナル、三角港があり、関係官

公署や商店街などが密集し、人、物、情報等が行き交う交流の拠点である。この一帯を整備し、賑わいの場を作る計画である。宇城市実施計画には、平成22年度5千万円の事業費が記載されているが、過疎債の恩恵が受けられる年度内までにこれを前倒しして調査等の実施をされる考えはないか。
市長 大学生や専門家による「九州デザインシヤレツト2005」という研究事業がある。この事業に取り

組み、三角港の将来像を研究し、その結果を踏まえ、前倒しできるのか検討したい。

熊本天草幹線高規格道路の整備促進について

問 熊本市と本渡市を90分で結ぶ自動車専用道路計画。松島町の3km余が供用されているが、熊本・三角間は、調査区間に指定されたままである。高規格道路の整備のための市の対応策は。
市長 整備区間に昇格するのは厳しい状況。熊本・天

三角島原フェリーの存続について

問 熊日新聞では、フェリー会社から「燃料費の70%の補助や国庫補助事業を活用した船の買取り」などの要望があり、市は「要請された支援措置の可否を協議している」という報道があったが、市の対応策は。
市長 「まちづくり交付金事

業」の活用等を含め、県への要望や上天草市とも連携しながら存続に向け努力したい。

水道料金格差是正について

問 宇城市民は、上水道、簡易水道など多様な方法で生活用水を確保しているため、料金も地域により格差があり、市民に不満がある。料金格差解消の具体策は。
市長 料金改定については、改善計画や健全化スキルを計画しており、段階的な改定を進めていきたい。

18年度の予算編成について

問 18年度予算については、今編成中と思うが、市長が今後執り行っていく事業は、どの程度盛り込む予定か。
市長 政策的経費については、合併特例債を活用した事業として、議会棟の建設、三角支所、豊野支所の建設、主要市道の改良を予定している。その他の統合三角小学校の建設、60歳以上のMRI検診の無料化をはじめとする保健予防事業などを予定している。



山岡 祥二 議員

公共施設の
アスベスト対策について

問 宇城市有施設アスベスト使用状況調査では、171施設が調査の対象になり、設計

図や施工業者の目視による調査が行われ、飛散性については21ヶ所の報告が出ている。今後の工事の予定、工事にかかる国・県の支援はどのようなになるか。
市長 その後の調査で21カ所のうちアスベスト含有率1%以上の施設は、松橋・小川の排水機場3カ所、1%未満（基準値以下）が松橋中学校の体育館天井、松橋小学校の機械室の2カ所であり、他の施設にはアスベストは含有されていない

という結果が出た。このうち、松橋小学校は処理が済んでおり、松橋中学校については工事の準備を進めている。その他の施設については、今後撤去も含め対策を検討したい。
国・県の支援は、現在のところないが、政府は文教及び社会福祉関係に石綿を除去する工事の費用などに充てる補正予算を決定したとの情報があり、現在確認中である。

※12月20日閣議決定

指定管理者制度について

問 公共施設の管理を民間に委託することについて、民間業者の選定はどうするのか。
総務部長 民間事業者を含む地方公共団体が指定する指定管理者が公共施設の管理を行う制度に転換された。選定は、助役、総務部長、財政課長及び所管の担当部課長をメンバーとする選定委員会が選定基準に基づき審査を行い、必要に応じ、学識経験者の会議出席を予定している。